

食品安全委員会の12月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第170回 12月7日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（遺伝子組換え食品等2品目 「L-バリン」及び「L-ロイシン」）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（新開発食品「明治リカルデントTMミルク」）について厚生労働省から説明
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「クロルピリホス」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（添加物「イソブタナール」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（農薬2品目 「クロチアニジン」及び「ピフェナゼート」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品安全委員会の11月の運営について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成18年11月分）について報告

第171回 12月14日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（11月13日付けの「乳等に使用できる容器包装として、ポリエチレンテレフタレートを主成分とする合成樹脂を追加すること」の取り下げと、改めての12月11日付けの「乳等に使用できる容器包装の原材料として、ポリエチレンテレフタレートを追加すること」）について厚生労働省から説明
- ・添加物専門調査会における審議状況について報告（「次亜塩素酸水」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品2品目 「フルニキシメグルミンを有効成分とする製造用原体（パナミン）及び馬の消炎鎮痛剤（パナミン注射液5%）」並びに「ケラチナーゼを有効成分とする洗浄剤（プリオザイム）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・企画専門調査会に対し、食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項のフォローアップについて及び平成19年度食品安全委員会運営計画について、調査審議を求めることを決定
- ・リスクコミュニケーション専門調査会に対し、「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて」において、今後検討すべき内容として掲げられた、リスクコミュニケーションの検証、審議の経過に関する透明性の確保と情報

提供のあり方、 地方自治体との協力、 諸外国との連携及び 食育 の諸課題も踏まえ、リスクコミュニケーションの着実な推進と新たな展開について議論し、意見を取りまとめることについて調査審議を求めることを決定

第172回 12月21日(木)

- ・寺田委員長から辞任の挨拶
- ・互選により見上委員を委員長に選出
- ・食品健康影響評価の要請(農薬7品目 「キノキシフェン」, 「ジクロトホス」, 「シニドンエチル」, 「ニトラピリン」, 「フリラゾール」, 「フルリドン」及び「ラクトフェン」)について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請(動物用医薬品7品目 「キシラジン(優先評価物質)」, 「アモキシシリン」, 「カナマイシン」, 「セフキノム」, 「ドキシサイクリン」, 「バルネムリン」及び「リンコマイシン」)について厚生労働省から説明
- ・遺伝子組換え食品等専門調査会における審議状況について報告(「L-バリン」及び「L-ロイシン」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・食品添加物公定書の改正に伴う「食品、添加物等の規格基準」の改正について、人の健康に悪影響を及ぼすおそれはないものとして同日付けで厚生労働大臣に通知
- ・食品健康影響評価(農薬「アゾキシストロピン」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・食品安全モニターからの報告(平成18年11月分)について報告

2 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第17回 12月4日(月)

- ・委員会自らの判断により食品健康影響評価を行うべき対象について点検・検討(「食品への放射線照射に関する食品健康影響評価」について自ら評価の案件候補として委員会に報告することを決定するとともに、「ひじき中の無機ヒ素に関する食品健康影響評価」については無機ヒ素に関してファクトシートとして情報を提供すべきであるとし、有機ヒ素に関しては情報収集を継続すべきであるとし、「クロロプロパノール類に関する食品健康影響評価」及び「フランに関する食品健康影響評価」については既存の科学的知見の範囲でファクトシートとして情報を提供すべきであるとした。また、「非定型スクレイピーに感染した小型反芻動物(めん羊と山羊)関連製品」については、情報収集を継続すべき)
- ・平成18年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について説明

(2) 添加物専門調査会

第39回 12月19日(火)

- ・「香料 ブタナール」及び「ポリビニルピロリドン」について検討

(3) 農薬専門調査会

第8回幹事会 12月6日(水)

- ・ 「ウニコナゾールP」, 「カズサホス」及び 「フルフェノクスロン」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第7回総合評価第一部会 12月6日(水) 非公開

- ・ 「ジノテフラン」及び 「ヨウ化メチル」について検討し、 について幹事会に報告することを決定

第2回確認評価第一部会 12月25日(月) 非公開

- ・ 「ジメトモルフ」, 「フェンブコナゾール」及び 「ホルペット」について検討し、 及び について幹事会に報告することを決定

(4) 動物用医薬品専門調査会

第65回 12月15日(金)

- ・ 「メロキシカム」, 「トルトラズリル」及び 「マルボフロキサシン」について検討

(5) 器具・容器包装専門調査会

第8回 12月19日(火)

- ・ 座長を選出するとともに専門調査会の運営等について説明
- ・ 乳及び乳製品の容器包装の規格基準改正に係るポリエチレンテレフタレートの追加について検討し、一部修正のうえ、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(6) 化学物質専門調査会

第3回 12月11日(月)

- ・ 汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループにおける審議状況(清涼飲料水に係る化学物質の食品健康影響評価(「四塩化炭素」, 「1,4-ジオキサソ」, 「1,1-ジクロロエチレン」, 「シス-1,2-ジクロロエチレン」, 「トランス-1,2-ジクロロエチレン」, 「塩素酸」, 「ジクロロアセトニトリル」, 「抱水クロラール」及び「塩素(残留塩素)」)及び水道により供給される水の水質基準の設定(塩素酸))について汚染物質専門調査会及び食品安全委員会へ報告することを決定

(7) 汚染物質専門調査会

第15回 12月26日(火)

- ・金沢大学の城戸教授及び金沢医科大学の中川教授によるカドミウムに関する講演及び意見交換を実施
- ・汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループにおける審議状況の報告

(8) プリオン専門調査会

第40回 12月13日(水)

- ・食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価について検討
- ・133 以上、3気圧以上及び20分以上の条件で処理をした蒸製骨粉の製造過程で生ずるにかわかすを肥料として利用することについて検討

(9) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第43回 12月18日(月) 非公開

- ・「ジェランガムK3B646」、「SPEZYME FRED(TM)」、「L-バリン」及び「L-ロイシン」について検討し、及びについて一部修正のうえ、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(10) 新開発食品専門調査会

第42回 12月22日(金) 非公開

- ・「キリンブナハリ茸」及び「明治リカルデント_{TM}ミルク」について検討し、について国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(11) 肥料・飼料等専門調査会

第20回 12月21日(木)

- ・肥料・飼料等専門調査会飼料評価部会の設置について(案)」及び「飼料評価部会名簿(案)」が了承され、今後、ポジティブリスト制度導入に伴って評価が依頼される飼料添加物等については、飼料評価部会で審議を行うことを決定
- ・「薬剤耐性菌の食品健康影響評価の進め方について(修正案)」が了承され、薬剤耐性菌に関するワーキンググループに微生物専門調査会を加えることを決定
- ・「グルコン酸カルシウム」及び「ギ酸カルシウム」について検討し、一部修正のうえ、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第21回 12月21日(木) 非公開

- ・「ニギ酸カリウム」について検討し、一部修正のうえ、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

1 2月6日(水) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会) <岡山県岡山市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省及び農林水産省・中国四国農政局の主催により、岡山県岡山市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省、厚生労働省、国立大学法人島根大学理事の山本廣基氏、(財)残留農薬研究所理事の原田孝則氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1 2月12日(火) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会) <三重県四日市市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・東海北陸厚生局及び農林水産省・東海農政局の主催並びに三重県及び四日市市の共催により、三重県四日市市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省、厚生労働省、国立大学法人島根大学理事の山本廣基氏、(財)残留農薬研究所理事長の寺本昭二氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1 2月13日(火) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会) <大阪府大阪市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・近畿厚生局及び農林水産省・近畿農政局の主催により、大阪府大阪市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省、厚生労働省、国立大学法人島根大学理事の山本廣基氏、(財)残留農薬研究所理事の原田孝則氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1 2月19日(火) 第3回とちぎ食品安全フォーラム<栃木県宇都宮市>

- ・食品安全委員会、栃木県及び宇都宮市の主催により、栃木県宇都宮市にて開催し、webサイト「農薬ネット」主宰西田立樹氏から「農薬ってどんなもの?」、厚生労働省から「食品衛生法による残留農薬規制の概要について」、内閣府食品安全委員会事務局から「食品の安全性の確保について」のテーマで講演を行うとともに、生産者、消費者、食品関連事業者等の立場のパネリストを迎えてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

4. その他

1 2月1日(金) 第2回緊急時対応訓練(実動訓練)

- ・腸管出血性大腸菌O157による大規模な食中毒が発生し、緊急対策本部(食品安

全担当大臣を本部長とし、厚生労働大臣、農林水産大臣、食品安全委員会委員長等を本部員とする)の設置を見据えた緊急協議の開催が決定されたという設定の中で、事務局職員の緊急対策本部設置に向けての行動手順を確認するとともに緊急時対応の実践能力の向上を図ることを目的に実施

1 2月22日(金) 地域の指導者育成講習会(秋田) - 食の安全情報の共有化を目指して -

- ・ 食品安全委員会、(独)農林水産消費技術センター仙台センター及び秋田県の主催で開催し、内閣府食品安全委員会事務局から「食品の安全と信頼確保」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子博士からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施

季刊誌「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol. 11」を発刊